

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-104	Year Month Day Time 2008 年 5 月 3 日 15 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA 明成 55 ●	<table border="1"> <tr><td>19 1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>9 2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>13 3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>14 4th</td><td>30</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	19 1st	16	9 2nd	17	13 3rd	24	14 4th	30	OT		チームB 台湾 87 ○
19 1st	16											
9 2nd	17											
13 3rd	24											
14 4th	30											
OT												

主審:Referee
山崎 仁士 大阪府
副審:Umpire
東 祐二 東京都
上田 信彦 岩手県
テーブルオフィシャル:Table officials
能代北高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	藤井 則希	CAP	2	0	1	0	3	4	／	賴 國 維	CAP	2	0	1	0	1
5	／	佐藤 文哉		3	1	0	0	1	5	×	彭 俊 諺		4	1	0	1	0
6	×	石川 海斗		14	4	1	0	2	6	×	李 明 暉		11	3	0	2	0
7	／	菅原 浄		2	0	1	0	0	7	×	林 力 仁		6	0	3	0	1
8	／	松澤 大晃		2	0	1	0	0	8	／	賴 柏 霖		1	0	0	1	0
9	×	小野 大貴		11	0	5	1	4	9	／	張 伯 維		20	2	6	2	1
10		高田 歳也		-	-	-	-	0	10	／	黃 文 鉅		0	0	0	0	1
11		圓山 慧		-	-	-	-	0	11	／	楊 曙		7	0	3	1	0
12	／	菊地 大		2	0	1	0	5	12	×	黃 家 明		7	0	3	1	1
13	×	畠山 俊樹		11	0	4	3	2	13	／	林 永 浩		15	2	4	1	1
14	×	新妻 一輝		2	0	1	0	5	14	／	蘇 柏 彰		6	0	2	2	2
15	／	宮澤 耀佑		2	0	1	0	1	15	×	周 柏 臣		8	0	2	4	1
16		杉本 健将		-	-	-	-	0				-	-	-	-	0	
17	／	安藤 誓哉		2	0	1	0	0				-	-	-	-	0	
18	／	松澤 大晃		2	0	1	0	0				-	-	-	-	0	
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		楊 宜 峰						
Aコーチ		細野 真							Aコーチ		謝 玉 娟						
合 計				55	5	18	4	23	合 計				87	8	24	15	9

※×:スター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q立ち上がりペースを掴んだのは、明成。トランジションの速い展開から#6石川が3Pを連続で決める。台湾は序盤動きが硬くミスを連発する。高さのある台湾は明成ディフェンスのファウルを誘い、フリースローで点差を詰める。1Qは豊富な運動量が台湾の高さを上回り、明成19-16と3点リードして終える。

2Q序盤は両チームのディフェンスが良く機能してなかなか点数が入らない。台湾は#9張の鋭いドライブインと#6李の外角シュートが攻撃の軸となり明成を捕らえ逆転する。その後、明成も#4藤井#9小野がゴールし追撃するが、台湾#9張が1人で12得点を稼ぐ活躍を見せ、前半は28-33で台湾が5点リード。

3Q、台湾が連続ゴールしたところでさすがに明成はタイムアウトを請求。ディフェンスをハーフコートマンツーマンにチェンジする。中盤、明成#6石川がスティールからの速攻を決めたところで今度は台湾ベンチがタイムアウトを請求する。残り3分明成#12センターの菊地が5ファウルで退場すると台湾はゴール下へ切れ込んでゴールを量産。3Qを終えて41-58と台湾がリードを広げる。

最終4Q、反撃したい明成だが今度は#14新妻が5ファウルとなり2枚のセンターが欠けた状態となる。リバウンドを支配する台湾は、内外角から自在に攻撃を加えリードを広げる。ファウルトラブルからあせる明成はシュートミスも重なり苦しい展開となる。うまくゲームをコントロールする台湾が控え選手も含めた全員出場で55-87と32点差をつけ明成に快勝した。